

ふれ愛プラザ交流大会ボッチャグランプリ 2026 実施要領

- 競技規則 以下に定める交流大会の競技規則および大会申し合わせ事項により行う。
- 使用球 主催者が用意したボールまたはチーム等で用意したボール（日本ボッチャ協会が定める基準に満たしているものに限る）を使用することができる。
- 用具 勾配具（ランプ）や投球補助具は、各チームで用意することが望ましいが、用意できない場合は主催者で用意した物を使用してもよい。
- コート 縦 10.5m×横 6 mとする ※通常より小さいコートで実施する
- 試合

- ① 1試合2エイドのチーム戦とする。
- ② 赤色ボールを投球するサイドは1、3、5番のスローイングボックス、青色ボールを投球するサイドは2、4、6番のスローイングボックスで試合を行い、各選手は2個のカラーボールを投球する。
- ③ ジャックボールはチームの中の誰が投球してもよい。
- ④ 投球はジャックボールから遠いチームが投球する。距離が等しい場合はその状況を作ったチームが投球すること。
- ⑤ 投球の持ち時間は設けないが、円滑な大会運営のためできるだけ速やかに投球すること。また、投球する際、コートに入り状況を確認することもできる。
- ⑥ 2エンド終了時に同点の場合は、ファイナルショット（1球のタイブレイク）にて勝敗を決める。
- ⑦ ペナルティボールは取り扱わない。
- ⑧ ウォームアップは以下のとおりとする。
 - ・受付を済ませたチームから9時45分まで、予選リーグ戦を行うコートにて、譲り合って行うこと。
 - ・試合前の投球練習は、各チームの第1試合のみ行う。両チームが大会球を使用する場合、ジャックボールの投球練習はなしとする。
- ⑨ 審判は参加者相互審判（セルフジャッジ制）で行う。
 - ・競技時間等の計測は行わないものとするが、選手は遅延行為なく円滑な競技運営に協力すること。
- ⑩ その他、疑義が生じた場合、大会主催者が判断するものとする。

その他 上記に記載した規則以外に、申し合わせ事項が必要な場合は代表者会議にて設けることができる。

試合方法 原則として、

- ① 3チーム6ブロックによる予選リーグを行う。
 - ② ○予選リーグで各ブロック1位による3チーム2ブロックによる1～6位決定リーグを行う
 - 1～6位決定リーグで各ブロック3位による5・6位決定戦を行う。
 - 1～6位決定リーグで各ブロック2位による3位決定戦を行う。
 - 1～6位決定リーグで各ブロック1位による決勝戦を行う。
 - 予選リーグで各ブロック2位による3チーム2ブロックによる交流Aリーグを行う
 - 交流Aリーグで各ブロック3位による11・12位決定戦を行う。
 - 交流Aリーグで各ブロック2位による9・10位決定戦を行う。
 - 交流Aリーグで各ブロック1位による7・8位決勝戦を行う。
 - 予選リーグで各ブロック3位による3チーム2ブロックによる交流Bリーグを行う。
 - 交流Bリーグで各ブロック3位による17・18位決定戦を行う。
 - 交流Bリーグで各ブロック2位による15・16位決定戦を行う。
 - 交流Bリーグで各ブロック1位による13・14位決勝戦を行う。
- ただし、申込状況により変更する場合がある。

その他

- ① 競技エリア内は、試合のある選手、介助者、大会役員以外立ち入ることはできない。それ以外の者は「観戦エリア」で応援、待機すること。※ 会場図を確認すること。
- ② メンバー表は、プログラム記載の名簿とする。当日のメンバー変更は代表者会議にて申し出ることとする。